

資料・統計

2003年産科分娩統計

Annual Report of Deliveries in 2003

児玉省二 上村直美 生野寿史 西野幸治
 萬歳千秋 富田雅俊 海部恵美子 笹川基
 本間 滋 高橋 威

Shoji KODAMA, Naomi KAMIMURA, Kazufumi HAINO, Koji NISHINO,
 Chiaki BANZAI, Masatoshi TOMITA, Emiko KAIBE, Motoi SASAGAWA,
 Shigeru HONMA and Takeshi TAKAHASHI

要旨

2003年に当科で入院分娩した100例について、妊婦年齢、分娩様式、在胎週数個、出生体重、性差、アプガースコアなどについて集計報告する。

1. 分娩件数

表1に過去11年間に当科で取り扱った分娩件数を示す。年次的に分娩数は減少傾向を示すが、2002年は99名、2003年は100名で前年とほぼ同じ数であった。

表1 年次別分娩件数

年	分娩件数(件)
1993	358
1994	299
1995	277
1996	305
1997	282
1998	326
1999	196
2000	157
2001	139
2002	99
2003	100

2. 妊婦の年齢分布、経産の有無

産婦の年齢分布を表2に示す。年齢分布は19歳(2名)～44歳(2名)で、平均31.1歳であった。初産婦は41名、経産婦59名で、初産婦は25～29歳が17名、30～34歳で17名と最も多く、経産婦は30～34歳が25名で最も多く、35歳以上の高齢初産婦は20名

(20%)で、昨年の約4%より高い年齢者が占めた。

表2 産婦の年齢分布

年齢分布	初産	経産	合計
～19	2	0	2
20～24	3	1	4
25～29	17	14	6
30～34	17	25	42
35～39	2	14	16
40～	0	5	58
合計	41	59	100

3. 分娩様式

表3に分娩様式を示す。正常分娩は84名で、吸引分娩4名、鉗子分娩1名、骨盤位分娩1名、帝王切開分娩10名(10%)であった。今年度は双胎分娩を経験しなかった。前回帝王切開で、今回正常経膈分娩となった(VBAC)症例は1名であった。

表3 分娩様式

	例数
正常分娩	84
吸引分娩	4
骨盤位分娩	1
鉗子分娩	1
帝王切開	10
合計	100

帝王切開の適応を表 4 に示す。帝王切開 10 名のうち、選択的帝王切開が 7 名、緊急帝王切開が 3 名に対して行われた。選択的帝王切開の内容は、既往帝王切開 5 名、骨盤位 1 名、本人の家庭事情による希望 1 名であった。緊急帝王切開は、いずれも胎児ジストレスが適応であった。

表 4 帝王切開の適応

	例数
既往帝王切開	5
胎児ジストレス	3
骨盤位	1
本人希望	1
合計	10

4. 妊娠合併症

妊娠合併症を表 5 に示す。妊娠中の合併症は、甲状腺疾患 4 名 (機能亢進症 3 名、橋本病 1 名)、妊娠中毒症 1 名、子宮頸癌 Ia 1 期で円錐切除術既往 1 名、卵巣癌 Ic 期既往 1 名、RH (-) での不適合 1 名であった。

表 5 妊娠合併症

	例数
甲状腺疾患	4
卵巣癌既往	1
子宮頸癌既往	1
中毒症	1
RH 不適合	1
合計	8

5. 在胎週数・出生体重・性別

在胎週数の分布を表 6 に示すが、正期産 (37 週 0 日 ~ 41 週 6 日) は 99 名で大多数を占め、早産は 1 名で、過期産は陣痛誘発等で認めなかった。

表 6 在胎週数

	例数
37 週未満	1
37 週	9
38 週	23
39 週	27
40 週	31
41 週	9
42 週以上	0
合計	100

出生体重別では (表 7)、最も多いのは 3000 g ~ 3500 g 未満の 45 名で、次いで 2500 g ~ 3000 g 未満の 40 名で、2500 g 未満の低出生体重児は 1 名 (2470 g)、4000 g 以上の巨大児は 1 名 (4690 g) であった。

表 7 出生体重

	例数
2500g 未満	1
2500~2999g	40
3000~3499g	45
3500~3599g	13
4000g 以上	1
合計	100

性差では (表 8)、女児が 60 名、男児が 40 名で、女児が多くなった。

表 8 性別

	例数
女	60
男	40
合計	100

6. アプガースコア

出生 1 分後のアプガースコア別の例数を表 9 に示す。仮死の無い 8 点から 10 点は 97 名で大多数を占めた。仮死で 5 点の 1 名は、43 歳、経産、中毒症合併、40 週、吸引分娩、4690 g であった。仮死で 4 点の 1 名は、36 歳、経産、子宮頸癌 Ia 1 期で円錐切除術既往、37 週、2554 g で新潟市民病院に新生児搬送された。死産 (0 点) の 1 名は、44 歳、経産、37 週、2580 g で、死因は不明であった。

表 9 アプガースコア

	例数
10	1
9	64
8	32
7	0
6	0
5	1
4	1
3	0
2	0
1	0
0	1
合計	100